

上野学園大学音楽文化研究センター

第3期

音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座

〈基礎編〉

ファシリテーターって誰？何をする人？

音楽 × 人 × 学び × コミュニケーションを考える4日間

「ファシリテーター」の存在は、芸術教育プログラムの推進役として、音楽の世界でも注目されています。2009年から私どもが毎年実施してきたマイケル・スペンサーによる講座とフォーラム「日本におけるファシリテーターの未来像」をふまえ、昨年、おそらく日本で初めての本格的な「音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座〈基礎編〉」[各4日間]を2回開講しましたところ、大変好評をいただきました。そこで、今年度も第3期を開講いたします！

本講座では、ワークショップを学びの場と捉え、その基本的理念、具体的な方法論と実践法を、4日間30時間で詳細に学ぶ場です。音楽ワークショップの専門知識を有する実践的なファシリテーターを目指す方、ぜひご参加ください。



講師：マイケル・スペンサー（上野学園大学客員教授／日本フィルハーモニー交響楽団コミュニケーションディレクター）

ゲスト講師：苅宿俊文（青山学院大学社会情報学部教授） 三ツ木紀英（アート・エドゥケーター／認定NPO法人芸術資源開発機構副理事長）

2014年 8月7日(木)・8日(金)・9日(土)・10日(日) [全4日間]

各日 10:00～18:30 [受付 9:30開始] 会場 上野学園大学オーケストラ・スタジオ他

8月7日(木) 音楽ワークショップへようこそ 8月8日(金) 即興演奏／教育学からみたワークショップ

8月9日(土) テーマを選び、組み立てる 8月10日(日) 私のワークショップ、あなたのワークショップ

応募条件：①クラシック音楽の基礎的な知識と演奏スキルを持ちあわせ、18歳以上の音楽ワークショップ・ファシリテーターの実践的スキルを学びたい方。ただし、未成年の方は、必ず保護者の同意のもとお申込みください。②原則として、4日間参加できる方。欠席をされた場合でも、受講料の返金はいたしません。

定員：30名 [7月1日(火) 10:00～6日(日) 24:00受付。応募者多数の場合、抽選。]

受講料：一般35,000円 学生15,000円 ※学生証をご提示ください。 お申込み方法：専用オンライン・フォーム<<http://goo.gl/9591HH>>からお申込みください。

主催：学校法人上野学園、上野学園大学音楽文化研究センター 制作：上野学園大学音楽文化研究センター 企画協力：Sound Strategies Ltd.

後援：台東区、台東区教育委員会、ブリティッシュ・カウンシル、公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会、特定非営利活動法人ワークショップデザイナー推進機構、文化庁芸術家在外研修員の会（以上、申請中）

上野学園大学音楽文化研究センター
音楽ワークショップ ファシリテーター養成講座

第3期
基礎編

本講座では、専門性の高いとみなされがちなクラシック音楽を、わかり易い「言語」「方法」で、ワークショップ参加者にどうしたらより良く伝えられるのかを学びます。

ワークショップを「学びのプロセスを他者と共有する場」ととらえ、音楽に対する理解や知的好奇心の促進だけでなく、参加者自身の感受性、想像・創造力、表現力、コミュニケーション力などを創発できる環境をデザインするファシリテーターの養成を目指しています。

今後、音楽ワークショップに携わる人や参加者が増えれば、音楽ワークショップを核として、音楽家と療法士、音楽家と教育者、ワークショップデザイナーと療法士など、様々な連携やジャンルを越えたコラボレーションも生まれるでしょう。そして、クラシック音楽の聴衆拡大だけでなく、より良い社会・文化づくりへの貢献も期待できます。

上野学園大学では、その中心的存在になれるような、クラシック音楽の理論知識と演奏スキルを持ち合わせたファシリテーター（その能力を有する演奏家）の本格的な養成を今後ずっと力を注いでまいります。



マイケル・スペンサー
Michael Spencer

上野学園大学客員教授

日本フィルハーモニー交響楽団
コミュニケーションディレクター

上野学園大学客員教授、Sound Strategies経営責任者。日本協会理事。2010年より上野学園大学音楽文化研究センター客員研究員。パルセロナのOrquestra Simfònica del Vallès教育プログラム担当。日本フィルハーモニー交響楽団コミュニ

ケーション・ディレクター。約25年前から、芸術教育プログラムの開発・実践を先駆的に手がけ、世界各地で長年にわたりファシリテーター養成の領域で実績をあげている。2001年、日英文化交流のための「Japan Festival」にて、歌舞伎とシェイクスピア劇を融合させた異色のワークショップ・プロジェクトを、二代目中村又蔵と共に英国各地で行い、Japan Festival Awardを受賞。日本では、社団法人日本オーケストラ連盟主催（文化庁後援）、24のプロフェッショナルなオーケストラによる教育プログラムを各地で実施。2006年、皇后陛下ご臨席のもと、ワークショップ型コンサートを実施（紀尾井ホール）。2008年、アニメーション映画『ピーターと狼』（教育ディレクター担当）がアカデミー賞（短編アニメ部門）を受賞。11年にTED×WWF（世界自然保護基金）出演。2012年、英国免疫学会の依頼を受け、科学者と芸術家、地域コミュニティとの共生を目的とした芸術プログラムを英国各地で制作・実践した。2009年より上野学園大学にて「音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座」を定期的に開催。2013年12月には文化庁次代の文化を創造する新進芸術家育成事業に採択された。

お問合わせ/会場

上野学園大学音楽文化研究センター

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12

tel 03-3842-1021 [平日8:30-18:30 / 8:30-15:30]

fax 03-3843-7548

www.uenogakuen.ac.jp

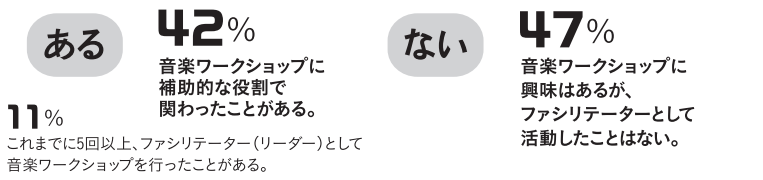
onbunken@uenogakuen.ac.jp

◎駐車場はございません。ご来校の際は、公共交通機関をご利用ください。
 ◎やむを得ない事情で、予告なく内容等が変更になる場合がございます。

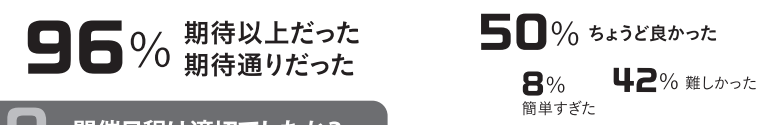
8 木 7	10:00- 12:30 session 1	音楽ワークショップへようこそ
	13:30- 15:30 session 2	ファシリテーターとは? ~豊かな学びをつくるために
	15:40- 17:30 session 3	音楽づくりの基本
17:40- 18:30 振り返り		
8 金 8	10:00- 13:00 session 4	楽器と即興演奏 ・教育楽器に親しむ ・効果的なアンサンブルの作り方 ・即興演奏に挑む
	14:00- 16:00 session 5	なぜワークショップ? ~教育学からみたワークショップ 刈宿俊文氏(青山学院大学社会情報学部教授)
	16:15- 17:30 session 6	オープンディスカッション——刈宿氏を交えて
17:40- 18:30 振り返り		
8 土 9	10:00- 12:00 session 7	テーマとレパートリー ~更なる効果を目指して
	13:00- 14:30 session 8	ワークショップを組み立てる
	14:45- 15:30	振り返り
15:30- 18:30 session 9		
アイデアをワークショップ化する		
8 日 10	10:00- 12:00 session 10	発表:私のワークショップ、あなたのワークショップ①
	13:00- 14:00	発表:私のワークショップ、あなたのワークショップ②
	14:10- 15:40 session 11	アート・ワークショップの社会性 三ツ木紀英氏(アート・エデュケーター/認定NPO法人芸術資源開発機構副理事長)
15:40- 16:30		
オープンディスカッション——三ツ木氏を交えて		
16:40- 18:30 session 12		
総括:ファシリテーターの役割、私たちがができること		

第1期参加者の声

Q これまでに音楽ワークショップファシリテーターの経験はありますか?



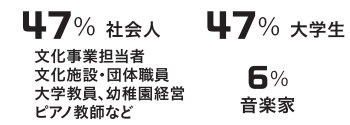
Q 講座内容はいかがでしたか?



Q 開催日程は適切でしたか?



Q ご職業は?



今までやってきた内容から学んだことを基に、各グループでワークを考え実践する機会があったのが良かった。実際にファシリテートすることで、知識がより深まったし、新たな課題が見えたように思う。

同じファシリテーターを目指す人の集まりだったが、立場の違いがあり、だから、仕事がスムーズに進められないことを再認識した。音大生の考え方や発言が、とても新鮮で面白かった。

ワークショップがこんなにも深いとは思いませんでした。本当に勉強になりました。もっともっと勉強したいです。

これまでの知識や学び、自分が考え感じていたこととリンクさせ、再認識できる場であった。